

2026 年 8 月

医療関係者各位

陽進堂ホールディングス株式会社

「使用上の注意」改訂のお知らせ

持続性 Ca 拮抗剤 日本薬局方 アゼルニジピン錠 アゼルニジピン錠 8mg「YD」 アゼルニジピン錠 16mg「YD」

今般、自主改訂により下記の通り使用上の注意事項を変更致しましたので、お知らせ申し上げます。
(下線部分が変更箇所です。)

ご使用に際しましては、下記改訂内容をご参照賜りますようお願い申し上げます。

記

〈改訂内容〉

改訂後			改訂前（部：削除）		
2.禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1～2.2 変更なし 2.3 イトラコナゾール、ミコナゾール（経口剤、注射剤、口腔用剤）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボリコナゾール、ポサコナゾール、HIV プロテアーゼ阻害剤（リトナビル含有製剤、ダルナビル含有製剤）、コビススタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、クラリスロマイシン、セリチニブ、ツカチニブ エタノール付加物、 <u>ロナファルニブ</u> を投与中の患者 [10.1、16.7.1 参照]			2.禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1～2.2 省略 2.3 イトラコナゾール、ミコナゾール（経口剤、注射剤、口腔用剤）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボリコナゾール、ポサコナゾール、HIV プロテアーゼ阻害剤（リトナビル含有製剤、ダルナビル含有製剤）、コビススタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、クラリスロマイシン、セリチニブを投与中の患者 [10.1、16.7.1 参照]		
10. 相互作用 変更なし 10.1 併用禁忌（併用しないこと）			10. 相互作用 省略 10.1 併用禁忌（併用しないこと）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
変更なし			省略		
クラリスロマイシン クラリス、クラリシッド セリチニブ ジカディア ツカチニブ エタノール付加物 ツカイザ ロナファルニブ ゾキンヴィ [2.3 参照]	本剤の作用が増強されるおそれがある。	これらの薬剤が CYP3A4 を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。	クラリスロマイシン クラリス、クラリシッド [2.3 参照]	本剤の作用が増強されるおそれがある。	これらの薬剤が CYP3A4 を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。
			セリチニブ ジカディア [2.3 参照]		
注）変更なし			注）省略		

—医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。—

〈改訂理由〉

●「2. 禁忌」、「10.1 併用禁忌」の改訂

先発製剤において相互作用相手薬記載との整合に伴う改訂が行われたため、同様に追記して注意喚起することといたしました。

●DSU No.348(2026 年 9 月発行)掲載予定

●最新の電子添文につきましては、以下ホームページをご参照ください。

陽進堂ホールディングスホームページの医療関係者様向けサイト(<https://yoshindoholdings.co.jp/>)

医薬品医療機器総合機構のホームページ(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>)

●専用アプリ「添文ナビ」を用いて GS1 バーコードを読み取ることで、電子添文を確認頂くこともできます。

アゼルニジピン錠「YD」のGS1バーコード



お問い合わせは、担当 MR 又は弊社お客様相談室までご連絡ください。

陽進堂ホールディングス株式会社 お客様相談室 ☎ 0120-647-734

以上